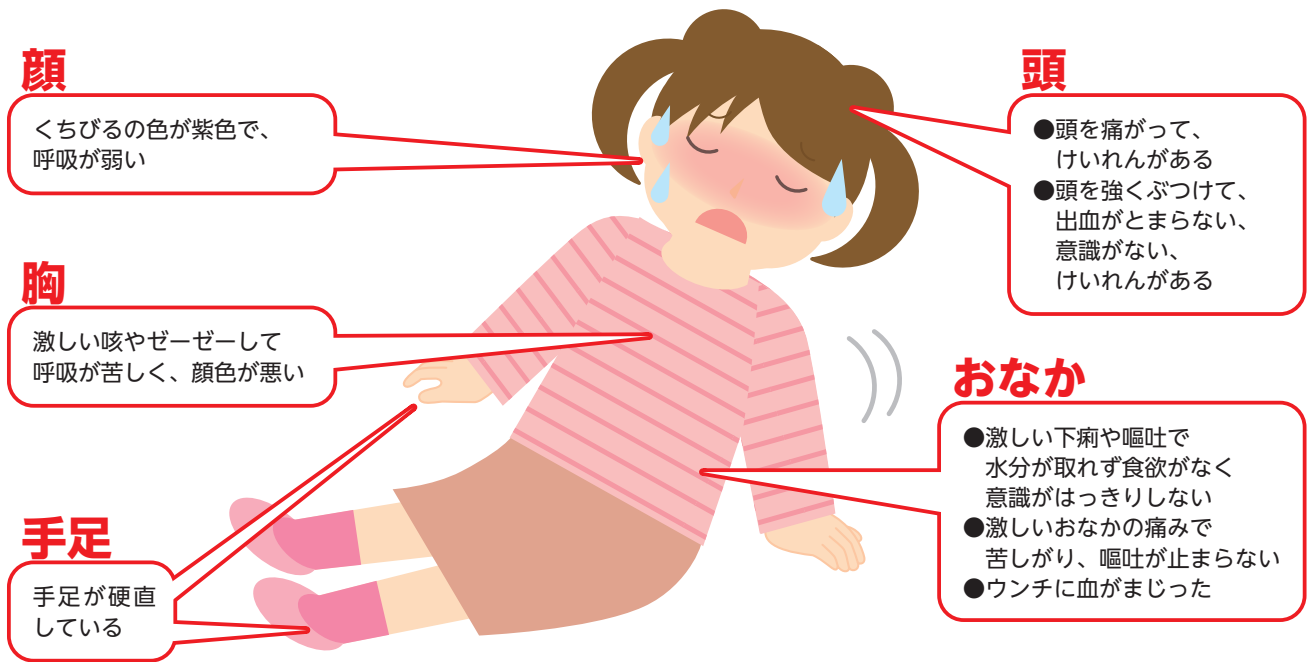


ためらわず救急車を呼んでほしい症状 小児（15歳未満）

■こんな症状がみられたら、ためらわずに**119番に連絡**してください！
重大な病気やけがの可能性あります。



意識の障害

- 意識がない（返事がない）
またはおかしい（もうろうとしている）

じんましん

- 虫に刺されて、全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった

生まれて3か月未満の乳児

- 乳児の様子がおかしい

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

やけど

- 痛みのひどいやけど
- 広範囲のやけど

飲み込み

- 変なものを飲み込んで、意識がない

事故

- 交通事故にあった（強い衝撃を受けた）
- 水におぼれている
- 高所から転落



●その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

消防庁ホームページ (http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9_6/leaflet.html)

子どもの事故を防ごう

0～5歳までの子どもが溺れた場所の9割は浴槽。
少しの時間なら1人にしても大丈夫だろう……の気持ちが事故のもと。
お風呂や水遊び中は、目を離さないようにしましょう。

詳しい対応方法は東京消防庁ホームページ <https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/>